

富士山の絵画

主催：静岡県立美術館
 会期：平成16年2月20日(金)～3月28日(日)
 休館日：毎週月曜日

静岡県立美術館は、17世紀以降の東西の風景画を中心に、昭和61年の開館以前から20年にわたり収集活動を行っている。静岡の風景といえば富士山、この名山を主題とした絵画がおのずと多く集まり、全国でも屈指のコレクションとなった。

わが国の最高峰＝富士山は、古くから絵画に描かれてきたが、その表現は時代とともに変わり多彩な展開を見せている。狩野探幽・司馬江漢・谷文晁・横山大観・和田英作らのように、富士山をこよなく愛し、それを終生追求した画家も多くいた。それほどに富士山は、日本の画家にとって特別なモチーフであり、日本風景画史上でも重要な意味をもっている。

本展は、館蔵品に所蔵家の方からお借りした作品を加えて、富士山の絵画を一堂に紹介する展覧会である。展示は以下のセクションにより構成された。

エッセンス 富士の名画

ビューポイント

富士三保松原

興津・薩陀の富士

伊豆からの眺望

七里ヶ浜の眺望

街道からの富士

各地からの富士

写生と写真

ドラマ

物語の富士

信仰と登山

連作の富士

富士山水

富士の肖像（匿名の富士）

なお、本展は収蔵品展の枠内で開催したものであるが、企画性を有するため、ここに掲載した。

カタログ

27.5×21.0cm 100p.

収蔵品図録として作成（主要刊行物 p.42 参照）

関連事業

講演会シリーズ：風景を考える3

3月21日(日) 午後2時～3時30分

大谷俊太氏（奈良女子大学助教授）

「富士を詠む - 和歌にみるその風景」

美術講座・学芸員が語るこの一点

2月22日(日)「横山大観《群青富士》」森 充代

2月29日(日)「谷文晁《富士山図屏風》」飯田 真

3月7日(日)「狩野探幽《富士山図》」山下善也

3月14日(日)「和田英作《富士》」泰井 良

午後2時～ 講座室・展示室

出品目録 p.96参照



ポスター



カタログ